

全国高校

駅伝大会

大阪・29位

男子

悔しさを次回へ



全国
高校駅伝

20日に京都市内で開かれた男子第71回・女子第32回全国高校駅伝競走大会で、15年連続15回目出場の女子・大阪薫英女学院（摂津市）は各選手がそれぞれの役割を果たし、1時間8分51秒で3年ぶりの入賞となる7位に入り、目標を達成した。3年ぶり3回目出場の男子・大阪（大阪市）は序盤は健闘したが、その後順位を落とし、2時間6分42秒で29位に終わった。
【隈元悠太、荻野公一】

ご声援ありがとうございました

来年も頑張ります！

陸上競技部

「全員駅伝」腕に駆ける

川辺主将（3年）が「みんなが満足してくれるような走りができる」と臨んだ今大会。大阪の選手たちは府大会と同じくチームが掲げる「全員駅伝」を腕に書き込んで都大路を駆けた。

エース級が集う1区を任せられたのは東原（3年）。途中まで集団の中に埋もれたが最終的に12位でたすきをつなぎ、「自己ベスト



男子の29位でフィニッシュする大阪の中條一（いずれもたけびしスタジアム京都で、山崎一輝撮影）

を更新することができたので満足している」。快走し順位を保った。2区の田村（3年）も厚く3区の乙守（1年）、4区の小林（3年）が力走するも徐々に順位を落とす。苦し

い状況が続いたが5区の水本（3年）が区間の走りを見せた。17位の走りを見せた。その後も6区の山口（3年）、最終7区の中條（3年）が粘り、20位台をキープしてフィニッシュした。

中條は「来年も都大路に出てほしい」と後輩たちへ思いを託し、唯一1年生で今大会走った乙守は「また来年、この場所へ悔しさを晴らしたい」と前を向いた。久保田健嗣監督は「全員がしっかりと頑張ってくれた」と選手たちをねぎらった。

12月21日(月)
毎日新聞朝刊

東原豪輝⑫ 29.31 田村一智⑫ 37.54 (⑳ 8.23) 乙守勇志⑫ 1.03.18 (㉔ 25.24) 小林聖也⑫ 1.27.39 (㉓ 24.21) 水本裕大⑫ 1.36.37 (㉗ 8.58) 山口太善⑫ 1.51.48 (㉓ 15.11) 中條昇太⑫ 2.06.42 (㉔ 14.54)